



第43号

平成28年11月1日 発行

輪 島 市

議会だより



地域の象徴である茅葺き家屋の「^{あて}档の館」で行われた、三井地区で10年以上途絶えていた伝統的な挙式

【目次】

第3回定例会の概要	2	議決結果	10
代表質問	3	委員会活動報告	11
一般質問	4	姉妹都市萩市議会親善訪問団来輪	12
常任委員会報告	8	議会日誌・編集後記	

発行 / 輪島市議会 編集 / 議会報編集委員会

輪島市二ツ屋町 2-29 TEL0768-23-1182 FAX0768-23-1180
ホームページ <http://www.city.wajima.ishikawa.jp/categories/bunya/gikai/>

平成28年 第3回 定例会

会期／8月30日～10月3日

平成27年度決算を認定

8月30日から35日間の会期で第3回定例会を開催しました。

市長から提出のあった平成28年度補正予算、平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定についてなどの議案11件、議員から提出があった議会議案4件を審議した結果、いずれも原案のとおり可決または認定となりました。



◎平成28年第3回定例会 平成28年度補正予算額

	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	207億1,391万7千円	1億2,113万4千円	208億3,505万1千円
特別会計	112億3,296万4千円	5,496万0千円	112億8,792万4千円
企業会計	62億6,386万1千円	0千円	62億6,386万1千円
合計	382億1,074万2千円	1億7,609万4千円	383億8,683万6千円

次の定例会は12月です

本会議の生中継・録画は

- 輪島市ケーブルテレビ9チャンネル、
- 市議会のホームページで見られます。
(ホームページアドレス)

<http://www.city.wajima.ishikawa.jp/categories/bunya/gikai/>



市議会を傍聴してみませんか

本会議は議場で傍聴できます。
傍聴席の定員は51名です。

なお、紙面の都合上、各議員の質問と答弁の全てを掲載できません。

正式な会議録は、次回の市議会定例会までに作成され、議会事務局や市立図書館で閲覧できます。





玉岡 了英 議員
(所属会派) 拓政会
(党) 自由民主党

質問した項目

- ◎ 市政の課題について
- ◎ 教育問題について
- ◎ 子育て支援について
- ◎ 本市のごみ処理のあり方について
- ◎ 新たな地域おこし事業について
- ◎ 道路整備について

市政の課題について

問 門前地区における市政懇談会において、合併後10年を経過して、どのような意見があったのか、また、その対応をお示しください。

答 合併後10年が経ち、市政懇談会を開催してきた中では、多岐にわたる様々な地域の課題や要望があり、とりわけ、旧門前町において大きな課題として残っていました。「おさよ卜ネルの開通」を始めとし

て、広域農道能登外浦地区の整備促進、携帯電話不感地帯の解消など順次、取組んでまいりました。

本年度は、イノシシによる農作物被害への対策、道路の維持補修や側溝の修繕、河川の土砂除去に至るまで多岐にわたる要望をいただいたところです。

仁岸地区では、大釜地内における産業廃棄物処理施設に関するところのみが議題となったところです。

この件につきましては、合併前の旧門前町が受入れを表明して以来、新市に引き継がれた重要な懸案事項であり、大釜地区住民の皆様方の当時の大きな決断などを含め、この間市長として非常に重く受け止めてきた経緯の説明や、市議会における議決の経緯、先般の

6月議会における公共下水道への接続に関する議決に至るまでの本市の対応につきまして、説明させていただいたところです。

いずれにしましても、各地域から要望された案件につきましては、できる限りその場で回答し、行政と地域住民の皆様方とのそれぞれの役割の中で、行政として対応できるものは迅速に対応しているところです。



本市のごみ処理のあり方について

問 志賀町のRDF専焼炉施設廃止後のごみ処理施設について、今後どうするのかお伺いします。

答 石川北部オール・デイ・エフ広域処理組合のRDF専焼炉施設は、石川

県のRDF専焼炉施設は、石川

県のごみ処理の広域化計画に基づき、ダイオキシン類対策と循環型社会の形成を推進するため、平成15年度より内灘以北の全ての自治体を対象に5つの施設から製造されるRDF（廃棄物固形化燃料）を焼却し、処理してまいりました。

この間、通常の焼却処理施設におきましても、技術の進歩によって、ダイオキシン対策が可能となったこともあり、コストが高いRDFによる処理を取りやめ、それぞれの自治体が、再度、コストが安い焼却処理へと方針転換を行うこととなったことから、先般平成34年度末をもって、RDF専焼炉の廃止が決定されたものです。

本市におきましても、輪島・穴水地域のごみ処理の実情を分析し、循環型社会の形成推進に向けた新しいごみ処理計画を策定しなければならぬと考えており、現在、穴水町及び輪島市穴水町環境衛生施設組合と協議を行いながら、検討を進めているところです。

検討の内容としましては、美谷町の輪島クリーンセンター焼却処理施設の老朽化が深刻化していることから、新しい焼却処理施設の建設につきまして、現地点におきましては地元の皆様方との協議が必要となりますが、候補地の一つとして門前町原において稼働を行っている輪島穴水地域RDFセンターの敷地や施設の一部を有効活用することにより対応ができないかと考えているところです。

また、リサイクル施設の併設などの必要性等も含め、様々な検討を行い、今年度中を目途に、本市にとつて最適なごみ処理方針を決定したいと考えています。

埋め立て処分場の現状と今後について伺います。

問 輪島クリーンセンター埋立処分場は、平成12年10月に竣工し、供用を開始してから本年度16年が経過しようとしています。

答 この間、能登半島地震による多量の廃棄物の搬入も

あり、埋立容量25万立方メートルに対して、平成27年度末時点で、3分の2となる16万立方メートルが埋立済みとなっております。埋立残余容量は、現在、3分の1にまで減少しています。

平成24年度から、ごみの区分をより細分化し、金属系のごみを不燃ごみから区分して再資源化を図ることにより、循環型社会の形成推進と埋立処分にする不燃ごみの減量に努めています。また、埋立残余容量から、今後、より一層ごみの減量を推進し、埋立処分場の延命化を図る必要があると考えています。



市政のここが聞きたい

◎は質問内容及び答弁を掲載しています。

代表質問



議員 善裕 下
所属(党) 無所属(党)

質問した項目

◎防災対策に関する輪島市の取組みについて
◎サイクリングツアーの計画と見通しについて

防災対策に関する輪島市の取組みについて

問 防災対策や避難先では、テレビやラジオなどによる正確な情報収集をすることが基本です。

輪島市内で携帯電話の不感地帯はかなり解消されていますが、より携帯性に優れた電源確保もしやすいラジオの不感地帯があります。現状の把握と今後の対策はどう考えていますか。

答 市内におけるラジオ放送の受信につきまして、地理的な要因などにより、AM・FM放送ともに聴きとりにくい「ラジオ難聴地域」が一部存在していることは、把握しています。

ラジオ難聴地域の解消について、状況を改善していただけるよう、放送事業者に対し引き続き働きかけていく考えです。

災害防止対策は、人間の暮らしと緊密な関係にあり、林業、農業、漁業それぞれに関わる人や地域の特性に応じた、あるいは農林水産業相互の連携した防災対策を協議していかか。

問 災害防止対策は、人間の暮らしと緊密な関係にあり、林業、農業、漁業それぞれに関わる人や地域の特性に応じた、あるいは農林水産業相互の連携した防災対策を協議していかか。

答 防災意識の向上につきまして、第一産業の関連団体と個別に協議は行っていませんが、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待される防災士の育成に重点を置き、市民全体の防災意識の向上を目指しています。

また、市民生活をあらゆる分野から支える組織から選任された輪島市防災会議

委員の専門的知見や、毎年実施している輪島市総合防災訓練に参加いただいた多くの団体や地区住民のご意見などを参考にして、防災対策の実効性を高めてまいりたいと考えています。

サイクリングツアーの計画と見通しについて

問 「いしかわ里山里海サイクリングルート」の内容と、輪島市独自のコースを提案してはどうか。

答 石川県の魅力向上及び観光誘客の新たな開拓を目的とし、本年度から石川県が事業主体となり着手しています。

現在は体験ルートの試験的な運用であり、奥能登地区ルートは2市2町を走る広域的なルートとなっておりますが、今後は「まれ」の舞台を通る大沢ルート、門前方面の總持寺ルート、田園風景を楽しむ金蔵ルートなど、更に輪島市のすばらしい風を肌で感じることが出来るルートの提案も行って、将来的な周遊観光ツアーにつなげたいと考えています。



議員 邦夫 鏡
所属(党) 日本共産党(党)

質問した項目

◎産廃処分場建設問題について
◎子どもの貧困対策について

就学援助の入学準備金について

◎学校給食の無償化について
◎年金問題について
◎国税の差し押さえ・滞納処分について

就学援助の入学準備金について

問 平成28年5月24日、参議院文教科学委員会

で、日本共産党田村智子議員が、「生活困窮世帯が入学準備金の立て替えをしなくて済むよう、就学援助を入学前の2〜3月に支給するよう要求」したことに對して、文部科学省の初等中等教育局長が、「児童生徒が援助を必要とする時期に

速やかに支給できるように通知している」と答弁しました。

その通知は、「平成27年度要保護児童生徒援助費補助金の事務処理について(通知)」というものです。これは、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」および「大綱」の流れの中で出されたものです。

通知は、「五 留意事項」として、「(一)市町村が、それぞれの費目を給与する場合は、次に掲げる点に留意すること」として、「イ」要保護者への支給は年度の当初から開始し、各費目について、児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給することができるよう十分配慮すること(特に新入学児童生徒学用品等)と述べています。

すでに実施している自治

体の取組みを参考に実施すべきではありませんか。

答 現在、石川県内において「新入学児童生徒学用品費」を入学前に支給している自治体は、小松市、白山市、羽咋市の三市です。

6月定例会でもお答えしましたように、本市では、入学時の各世帯の生活状況を把握して、適切な援助を行うという観点から、入学後の7月に支給を行っていきたく考えていますが、他市の状況を参考に調査検討してまいります。



質問した項目



小山 栄 議員
(所属会派) 拓政会
(党 派) 自由民主党

◎体育施設の充実について
○里山里海自転車ルート
の整備について
○ポケモンGOについて
体育施設の充実について
問 旧松陵中学校の体育館の利用計画は。
答 旧松陵中学校の体育館は、全天候型広場として雨天時にも屋外スポーツができるように、屋根や外壁はそのまま利用し、床の撤去を行い、人工芝を整備することで、多様な競技に使用できるようにします。

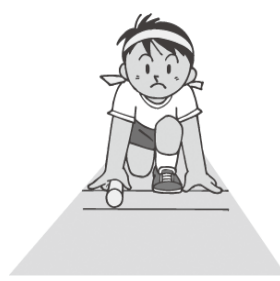
置は予定していません。

しかしながら、市内には雨天でも利用可能な室内練習場が少ないこともあり、さらに、市民の生涯スポーツ活動を推進する必要性もあることから、今後、多様なスポーツニーズに対応するため、体育協会と連携し、有効な活用策を検討してまいりたいと考えています。

問 マリントウン競技場での更衣室、シャワー室はいつ頃できるのか。
答 輪島市マリントウン競技場での更衣室につきましては、競技場開設時から2室を設置しています

が、シャワー設備については設けられておらず、これを設置するとすると、建物を増改築するなど大きな工事が必要となります。競技場のトラック及びフィールド以外の設備につきましては、限られた面積の中で競技場の機能を保つために必要な設備を設けているところです。

また、観覧席につきましては、現在、階段式の観覧席200席分と芝生席を設けていますが、増設につきましては、今後、利用状況や関係者のご意見を伺いながら、検討してまいりたいと考えています。



質問した項目



椿原 正洋 議員
(所属会派) 拓政会
(党 派) 自由民主党

◎情報通信技術の積極的な活用について
◎教育について
情報通信技術の積極的な活用について
問 防災や子育て支援及び観光情報を提供されていますが、発信機能だけなので、子育てについては、配信と同時に相談ができる仕組みにされてはどうでしょうか。
答 本市では、ICTを活用し、気象情報、防災情報、子育て支援、観光情報メール配信を始め、スマートフォン向けの無料アプリを利用し、様々な情報を得るサービスを実施しています。

スも実施しています。

教育について
不審者等への対応ですが、先月、石川県内の小学校に対し、爆破予告があり、結果的に、何事もなく済みましたが、市教委の対応を伺います。

また、保護者等の連絡網ですが、メール登録率が100%でないため情報伝達が行き届かない学校があると承知していますが、万全な対応を図るべきではないでしょうか。

また、市内観光スポット13箇所ではW A J I M A F R E E W i f i のサービス
答 不審者情報が入り次第、市教委から全小中学校にF A Xと電話で連絡し、各学校では、保護者へメールと電話で連絡します
が、一部、メール登録率が70〜80%程度の学校もあり、家庭には電話連絡をしています。

問 経済的な理由等で大
学校等へ進めない子供
達のために奨学金制度が
ありますが、貸与のため利
息を含めると4年間で170万
円以上の負債を抱えて卒業
します。

政府も貸与型から給付型に移行することを検討されており、市も先立つて取組まれては如何でしょうか。

答 本来、国や県がその役割を担うべきですが、市の関与が適切に検討したいと思います。

問 学校給食の輪島塗碗の使用についてですが、月一回の使用と聞いており、大変残念に思いました。

理由は、食器洗浄機に対応できないとのことですが、輪島塗の最大の特色は堅牢さと修理できることとであり、毎日使用しても十分耐えられますし、直しできます。

答 漆器の傷みを避け、手洗いによる時間や手間が多いので、現在の使用頻度になっていきますので、ご理解ください。



上平 公一 議員
(所属会派) 市政会
(党) 無所属

質問した項目

- ◎官庁、観光案内標識等の新増設について
- ◎主要地方道七輪線・道路改良(警察周辺)について
- ◎市ノ瀬地区換地業務(土地改良)について
- ◎河原田地区防災訓練について
- ◎文化会館大ホールの空調設備の故障について
- ◎市宮野球場施設改修について
- 官庁、観光案内標識等の新増設について

策の方からくり時計、三角州に大型まちなかマップ、観光スポットにマジングアーチ等の解説板、文化財周辺でも由来説明の案内板等を設置し、また現在、平家の里の発信、千枚田の四季等の看板を整備中です。

今後、既存案内板の修繕や内容の見直し・新設また、カーナビ・スマホナビ等への最新情報の提供に遺漏のないよう努めます。

主要地方道七輪線・道路改良(警察周辺)について

河原田地区道路整備促進協議会は、年2回の要望活動を続け、新たに杉平地内で道路幅員が狭く通学路の危険な状況の改善をする、そこで多くの住民協力が必要となります。

今後の工事概要を示せ。

能越道輪島ICより1.2kmのうち駅前交差点

から病院口交差点に至る600m区間について現況で8m程度の幅員ですが、両歩道で14mとし石川県が街路事業で整備、現時点で事業に必要な用地50件、このうち建物への影響がある物件が20件と伺っています。

市ノ瀬地区換地業務(土地改良)について

換地作業が調整困難となり13年経ち、当時苦労された方々も他界または高齢化し、歴代区長さんの努力もむなしく現在に至っているが、突如今補正で事業費が計上され、うれしくも驚いています。

進捗の経緯を伺います

市ノ瀬地区の圃場整備は、平成15年度に工事完了し、権利者間の土地の配分、境界設定の認識の相違や集落と土地改良区の連携不足等で換地手続が進まない状況でした。

今回一部が能越道の事業区間に該当し、関係者のご尽力で解決に進んでおり、より一層のご理解、ご協力をお願いしています。

生涯活躍のまちづくり事業について

「社会福祉法人 佛子園」が、市街地の空き家・空き地を活用し、多世代が交流を深め、生涯活躍のまちを実現させるための施設を整備するとあり、この様な施設により、障害者等の皆さんが技術を習得し、就労できれば、本人や家族にとっても大きな希望を与えることができ、施設との役割は大きいところでありますが、佛子園が、当市に進出してきた経緯、施設の全体計画(施設の規模、利用定員数、雇用予定者数、今後の事業拡大等)及び地元町内会や地元福祉施設等に説



高田 正男 議員
(所属会派) 清政クラブ
(党) 無所属

質問した項目

- ◎生涯活躍のまちづくり事業について
- ◎公有財産の管理について
- ◎生涯活躍のまちづくり事業について

また、多数の方がこの施設を利用した時、老人対策費、障害者対策費、介護保険費、或いは利用者への助成金等、後年における市の負担額も相当増加すると思われるますが、このことについての試算も伺います。

そして、既存福祉施設との連携を密に、ケアネットへの参加等も念頭に、市の指導もお願いします。

昨年度来、佛子園と協議を重ねて、国の地方創生先行型交付金事業に応募したところ、先駆的事业として採択されました。

この事業では、多世代交流拠点となる核施設を始め、周辺にはウエルネス、育児支援施設、ゲストハウス、ショートステイ、グループ

ホーム、サービス付き高齢者住宅をそれぞれ一棟ずつ整備し、高齢者や障害者へのサービス提供を行い、将来的には、サービス付き高齢者住宅一棟、グループホーム三棟の建設を計画しています。

サービスの計画は、高齢者デイサービス10名、就労継続支援A型27名、同B型7名、生活介護6名、短期入所2名、放課後等デイサービス10名、グループホーム5名を予定し、これによる雇用者は88名を予定しています。

また、地元住民への説明会は、概要や進捗状況で9回、介護福祉事業者には2回行っていますが、地域や関係機関からの意見も吸い上げながら、地域と一体となった取組み体制を進める予定です。

後年度の負担額については、年間利用料で約1億4千2百万円を見込んでおり、うち国・県で約1億7百万円、市の負担は約3千5百万円を見込んでいます。

本ページは、質問者本人の原稿を尊重して掲載しています。



坂本 賢治 議員

(所属会派) 市政会所属
(所属党派) 無所属

質問した項目

- ◎源泉掘削について
- 輪島ブルーエナジーの事業進捗について
- ◎能登SAKEツーリズム推進事業について
- 源泉掘削について

問 佛子園が河井町で計画している福祉関連施設に源泉の掘削を予定しています。

輪島温泉2号源泉やルートイン輪島から500m以内にあり、湧出量への影響が懸念されます。

佛子園との源泉掘削に係る温泉権についての覚書或いは協定書を交わしているのか。

交わしているなら、その内容を示していただきたい。

答 佛子園とは「温泉掘削に関する合意書」を

交わしており、掘削に係る諸費用は佛子園が負担します。

また、温泉利用の権利を本市の承諾なしに第3者に譲渡、転貸、継承してはならない等について合意しています。



能登SAKEツーリズム推進事業について

問 交流拠点施設は町野町にある中納酒造ですが、今回予定の整備内容及び今後の活動予定について伺います。

また、事業展開するにあ

たっては「地域おこし協力隊」のサポートが必要ではないかと考えますが、見解を伺います。

答 整備の概要は来客に提供する料理を調理する厨房の改修とトイレの増築、及び必要な備品等に対するの支援です。

今後の活動については、地元食材を能登の伝統的な調理法により、輪島塗の御膳で提供したり、能登杜氏と酒文化も含めて情報発信する予定です。

「地域おこし協力隊」については、今後、地元の方々と協議の中で検討したいと思っています。



行政視察受入

7月	8日 秋田県 由利本荘市議会 (6名)
	21日 福岡県 福岡市議会 (3名)
	26日 千葉県 鎌ヶ谷市議会 (12名)
	27日 東京都 小平市議会 (6名)
	28日 北海道 西東京市議会 (3名)
	29日 長崎県 雲仙市議会 (7名)
8月	1日 東京都 足立区議会 (4名)
	5日 埼玉県 秩父市議会 (4名)
	9日 長野県 長野県議会 (5名)
	16日 神奈川県 平塚市議会 (5名)
	17日 熊本県 水俣市議会 (5名)
9月	なし
	4月～9月 合計 (124名)

◎年賀状自粛のお知らせ

挨拶状の禁止(公職選挙法第147条の2)

「公職にある者は、当該選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これらに類する挨拶状を出してはならない」とあります。

輪島市議会では議員間の申し合わせにより、差し出しを自粛いたしております。御理解をお願い申し上げます。

市民の声募集!

議会報編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。

■お問い合わせは

市議会事務局

TEL (23) 1182

FAX (23) 1180

Eメール:gikai@city.wajima.lg.jp

常任委員会報告(抜粋)

予算決算 委員会 各分科会

付託された6件の議案の
主要な要旨について、議案第
85号及び議案第86号は、平
成28年度一般会計及び臨海
土地造成事業特別会計の補
正予算であり、議案第85号
については、生涯活躍のま
ちづくり事業費として、市
街地の空家・空地を活用し
て多世代交流施設を整備す
る費用、子どものための教
育・保育給付事業費として、
多子世帯等の負担軽減を図
るため保育料の軽減措置を
拡充する費用、能登S A K
Eツーリズム推進事業費と
して、能登杜氏の歴史や醗
酵食文化など能登の魅力を
紹介するための地域交流拠
点施設整備に係る費用を助
成する費用を計上したもの
です。

上したものです。
議案第88号から議案第91
号は、平成27年度一般会計、
特別会計及び企業会計の決
算認定を求めるものです。
これらの議案について、
執行部から詳細な説明を聴
取し、各課横断的な視点、
大局的観点から総括質疑を
行い、さらに分科会で分担
して詳細に質疑を行うなど、
慎重に審査した結果、
いずれも原案のとおり可決
又は認定すべきものと決し
ました。

なお、決算審査における
指摘事項についてですが、
滞納整理システムについて
は、各課と連携して有効に
活用すること、不納欠損処
分にあたっては、今後とも
適正に処理すること、補助
金で修復している文化財等
は、いつでも公開できるよ
う所有者の理解を得るよう
に努めること、マリントウ
ンの施設や周辺道路及び周
辺環境について、適切な維
持管理に努めること、補助
事業全般について、申請書
及び実績報告書を精査し、
成果・効果が所期の目的と
合致しているか確認すると
ともに、補助金交付先への
指導及び事業実施後の効果
を検証すること、などの指
摘がありました。

また、来年の決算審査に
向けては、「主要な施策の
成果についての説明書」の
一部で、課によって記載内
容に差があり、分かりにく
いものがあるので、事業内
容なども適宜記載するほ
か、決算書の附属資料とし
て、参照しやすい工夫をす
ること、また、法人の経営
状況等の説明書について、
複数の事業を行っている場
合、「事業計画」「経営状況」
「収支状況」などが事業ご
とに明確になるような資料
を提出することなどについ
て配慮していただきたいと
思います。

今回は初めて予算決算委
員会での決算審査となった
ことから、執行部も戸惑う
ことが多かったと思うが、
質疑にあたっては、明確な
説明ができるように求め、
予算決算委員会の報告とし
ます。

総務分科会

【予算関係】

移住・定住促進事業費に
関し、石川県立輪島漆芸技
術研修所の卒業生への制度
の周知及び利用状況ついて
質疑があり、執行部からは、
在校生については研修所を
通じて、また、卒業生につ
いては昨年度においては意
見交換会の場で周知を行っ
たとの答弁がありました。

次に、ふらっと訪夢管理
費について質疑があり、執
行部からは、空き店舗と
なっている飲食ブースにト
イレを整備するものであ
り、トイレ整備後に入居を
希望する事業者がいるとの
答弁でありました。

教育民生分科会

【予算関係】

保育所等ICT化推進事
業について、保育業務支援
システムの中味と防犯カメ
ラの仕様についての質疑が
あり、システムとカメラの
詳細は事業主体が独自に導
入・設置するとの答弁があ
りました。

また、中学校生徒の情報
教育用パソコンの更新につ
いて、市内全中学校の状況
についての質疑があり、今
回の内訳は、輪島中学校37
台、東陽中学校23台の計60
台の生徒用パソコンで、門
前中学校の分は既に更新済
みなので、市内全ての中学
校で更新されたこととなる
との答弁がありました。

【決算関係】

生活困窮者自立支援事業
費の成果について質疑があ
り、相談件数は延べ362件、
実人数は66人で、就労にま
で到った件数は1件だけで
が、年々相談件数は増えて
おり、相談窓口の役割を果

た場合は納税義務者を調査
し、適切に課税していると
の答弁でありました。
次に、滞納整理の取組み
について質疑がなされ、奥
能登地方税滞納整理機構に
おいて、県職員3名、奥能
登2市2町から各1名の計
7名体制で滞納整理に取組
んでおり、奥能登全体で平
成26年度の引受額約1億7
千7百万円、回収額約3千
9百万円、徴収率22.1%、平
成27年度引受額約2億2千
3百万円、回収額約4千6
百万円、徴収率20.9%であり、
前年比徴収率は若干下がっ
たものの回収金額は増えて
いるとの答弁がありました。

たしているとの答弁がありました。

歳入では、霊柩車使用料の不納欠損の理由について質疑があり、生活困窮など経済的理由で納付されなかつたもので、長期間滞納となっていたものに対し、監査委員から指摘を受けたため、不納欠損処理したとの答弁がありました。

次に、競技成績の向上のほかに、スポーツ人口の裾野を広げるために、地域で活動している団体を支援する目的で、補助金などの支援は考えられないかとの質疑があり、大会開催等には補助はあるが、地域でのスポーツ活動に対しても必要があれば検討していきたいとの答弁がありました。

館長設置費等について、公民館長の活動内容に見合った報酬等が支払われているかとの質疑があり、公民館長は特別職で、館により活動内容や出勤日数に差があり、大会旅費は予算措置しているが、報酬等については近隣市町の状況も見て、今後考えていきたいとの答弁がありました。

次に、議案第90号は、平成27年度輪島市病院事業会計決算の認定についてであり、金利の高い企業債を繰上償還し、低金利のものに借換えしたことはないのかとの質疑があり、繰上償還手数料や手持ち現金の問題もあり、行っていないとの答弁がありました。

産業経済分科会

【予算関係】

送付されたものの主な内容について、市単漁港施設整備事業費においては、鵜入漁港の護岸のかさ上げ、皆月漁港における臨港道路の勾配改良については、地元から要望されたものであり、現地確認の結果、早期の対応が必要と判断されたものです。

また、輪島塗市場調査・研究支援事業費では、金沢大学が主体となり市内漆器業者などと協力し、感性評価工学を応用した市場調査及び分析により、新たな輪島塗の商品開発や販路拡大及びプランを作成する費用を助成するものです。

千枚田ポケットパーク整

備事業は、千枚田ポケットパーク手前の道路約200mの植樹帯を撤去し、路肩の拡幅工事を行い車両の混雑解消を図るためのものです。

次に、主な質疑についてですが、能登SAKEツアーズム推進事業について、当初の担当課から変更になつてはいるがしっかりと引き継ぎはされているのか、また市役所のホームページ等で宣伝し、知名度を上げてほしいとの質疑があり、前担当課と一緒に現場に行き、話を伺うなどしっかりと引き継ぎを行っていることとあり、市で協力できるところは積極的に協力していきたいとの答弁がありました。

【決算関係】

戦略作物生産支援事業費では、平成25年度から27年度の3年間限定だが、3年間で産地化は達成できたかとの質疑があり、戦略作物のアスパラガスは主に町野地区で生産され、平成27年度の売り上げで1千百万円を超える販売額となり、一定の実績はあつたのではないかとこの答弁がありました。

た。

次に、海女漁振興事業費では、残額の理由について質疑があり、振興会に補助金を交付しているが、自然条件などで実行できなかったものもあつたためとの答弁がありました。

次に、都市計画費では、マリントウンにおける草刈りや水路の清掃、こどもの広場のゴミ処理方法、遊具の使用方法、親水空間の状況等及び全体管理について質疑があり、項目ごとに対処できるよう検討していきたいとの答弁がありました。

次に、議案第91号平成27年度輪島市水道事業会計決算の認定については、権利放棄の件について質疑があり、執行部からは、権利放棄に至つた経緯や時期について答弁がありました。

総務委員会

付託されたものの主な内容について、議案第92号及び議案第93号は、権利の放

棄についてであり、いずれも輪島市建設工事標準請負契約約款に規定する賠償金及びこれに付帯する延滞金について、債権者の破産手続き廃止決定がなされたため、権利を放棄するもので、採決の結果、いずれも全会一致で可決すべきものと決しました。

教育民生委員会

付託されたものの主な内容について、議案第87号は、子どもが2人以上の世帯及びひとり親世帯や障害者のいる世帯などの経済的負担軽減を図るため、兄弟姉妹の年齢制限の撤廃をすることにより、保育料の軽減措置の拡充を図るものです。

次に、主な質疑として、保育料認定の階層区分について質疑があり、国からの指導により、結婚したものは生計同一としないが、単に就職したものについては生計同一と取扱うとの答弁がありました。

次に、保育料の改定通知

について質疑があり、既に届いているのは住民税の所得割等が確定したことによる額改定で、今議会で議決後は、改正内容を反映したものを再度通知するとの答弁がありました。

以上、付託された議案について採決を行ったところ、議案第87号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

産業経済委員会

付託されたものの主な内容について、議案第94号及び議案第95号は、市道路線の認定及び廃止についてであり、市道路線の整備を行うものであります。

この議案2件に対して、執行部から説明を聴取し、慎重に審議、採決を行ったところ、議案第94号「市道路線の認定について」は全会一致、また、議案第95号「市道路線の廃止について」は賛成者多数で、可決すべきものと決しました。

第3回定例会議決結果一覧

- 市長提出議案：補正予算2件、条例の一部改正1件、決算4件、その他4件
- 議員提出議案：意見書4件

■全会一致で議決された議案

議案番号	件名	議決結果
議案第85号	平成28年度輪島市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第86号	平成28年度輪島市臨海土地造成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第87号	輪島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第89号	平成27年度輪島市特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第90号	平成27年度輪島市病院事業会計決算の認定について	認 定
議案第91号	平成27年度輪島市水道事業会計決算の認定について	認 定
議案第92号	権利の放棄について	原案可決
議案第93号	権利の放棄について	原案可決
議案第94号	市道路線の認定について	原案可決
議会議案第8号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
議会議案第9号	教育予算の拡充を求める意見書	原案可決
議会議案第10号	北朝鮮による核実験の実施及び弾道ミサイル等の発射に断固抗議する意見書	原案可決
議会議案第11号	奨学金制度の拡充等を求める意見書	原案可決

■賛否が分かれた議案等

議案番号	議案名	議決結果	拓 政 会											市 政 会		魁	日本共産党	清政クラブ	勇 気	
			中山勝	橋本重勝	玉岡了英	小山栄	椿原正洋	大宮正	漆谷豊和	森正樹	一三秀仁	西恵	森裕一	坂本賢治	上平公一					竹田一郎
議案第88号	平成27年度輪島市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第95号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※○は賛成、×は反対、退は退席、欠は欠席です。議長（森 正樹）は採決に加わりません。

※議案第85号から議案第95号までは市長提出議案、議会議案第8号から議会議案第11号は議員提出議案。

教育民生委員会視察報告

8月19日

去る8月19日に、社会福祉法人佛子園の本部のあるBS・行善寺」と、「Share(シェア)金沢」を視察しました。行善寺は輪島カブールと同じ「タウン型(施設点在型)」、シェア金沢は「エリア型(地域一括整備型)」と形態は異なりますが、「こっちゃんウエルネス」の統一した理念のもと、お年寄りも若者も、子供も大人も、年齢や疾患、障害の有無に関わらず、地域の住民と関わりを持つように運営されていました。

最初に佛子園の沿革について話があり、雄谷理事長の祖父は日蓮宗行善寺の住職で、孤児を引き取って育てていました。

1960年に、知的障害児の入所施設である社会福祉法人佛子園が開設され、雄谷理事長も生まれてから小学校中学年まで、施設の中で障害児たちと一緒に生活を共に暮らしていた経緯もあり、佛子園の基本は常に「障害児福祉」にあるとのことでした。

佛子園は、石川県内で様々な施設を運営し事業展開していますが、「児童入所施設」を基本に、地域に溶け込むために「温泉を掘削」するのは共通事項で、それに付随して障害をもつ子供が施設内で閉じこもらないために、地域住民が集えるような温泉や飲食施設・ギャラリーなどを整備したり、児童が触れ合えるように学童保育をしたり、情操教育のためにドッグランやアルパカ牧場を整備したり、高齢者と触れ合えるようにサービスタ付高齢者住宅や、学生のためのアパートを整備したりするなど、結果的にまちづくりのような形態になっているとのことでした。

最後に、「輪島カブール」は日本有数のプロジェクトであり、佛子園としても非常に注目しているモデルであること、小松市や金沢市などでも実績はあるが、どこの地域にも通用する手法はなく、輪島市の地域性を十分に研究し、地域住民や地域の事業者とも十分に話をしながら進めて行きたいとの話がありました。

輪島中学校建設特別委員会視察報告

7月19日～21日

去る7月19日から7月21日まで、東京都荒川区、千葉県習志野市及び浦安市を視察し調査を行いました。

荒川区では、「タブレットPC導入及び活用について」説明を受けました。荒川区では、平成22年度に、小中学校全普通教室への電子黒板の導入、平成24年度に、デジタル教科書のネットワーク配信、平成26年度に、タブレットPCを全小中学校に導入し、活用時における一人一台体制を確立しました。

もともと荒川区では、学校司書を全校に常駐させ、調べ学習に対するスキル向上を図るなど「学校図書室日本一」を標榜しており、各小中学校の授業で学校図書室を活用することが活発になっています。課題に対し、図書館資料とタブレットPCを併用し、自分の課題解決に必要な情報を集め、友達と交流を含め、調べる学習に取り組んでいます。

実験や実技教科での活用も進められており、特に体育科での使用は国内でも画期的で、水中でも使えることから、水泳の実技中に、水中から水のかき方を撮影することができました。

タブレットで撮影し、その場で振り返りをする方法は「荒川スタイル」と呼ばれ、従来ではビデオカメラとプロジェクトなどで行われてきた指導法ですが、タブレットを使うことで装備も手軽に行うことが出来るとの説明がありました。

習志野市では「公会計制度について」説明を受けました。最初に、習志野市が全国に先駆けて行っている「バランスシート探検隊」では、大学生や高校生・市の職員が、体育館や校舎などの市の公共施設を、バランスシートに基づいて検証と分析を行うことにより、市が施設を整備し、維持管理・運営していくには、市全体としての負担や、長期的な視野からの世代間の負担を考えていく必要があることが明らかになるなど新たな気づきがあったとの説明がありました。

次に、市民に分かりやすい財政状況の広報の工夫として、分析の視点として他市比較や経年比較を取り入れること、読者に分かりやすく、キャラクターを用いたQ&Aや、図表や語句の説明を入れるなどの工夫をしているとのことでした。

最後に、学校施設などの大型施設の建設にあたっては、補助金・交付金や有利な起債を活用すれば、建設年度の市の財政負担は確かに低くなるが、今後の維持コストや運営費は一般財源で賄えるのか、地方交付税措置されるのはあくまで計算上の算定なので注意が必要なこと、減価償却を含めたフルコスト情報で長期的に考える必要があるなど指摘を受けました。

浦安市では、「市立図書館と学校図書室の連携について」説明を受けました。

図書館としては、学校司書との連携や団体貸付を行っているとのことでありました。学校司書との連携では、学校現場は一人職場なので、選書(図書選び)や棚作り(分類法)で研修が大事であり、学校司書も図書館司書と同一の研修を受講したり、また、図書館司書が学校司書の研修会の講師を務めたりしていること、また、中学校をはじめとする団体貸付は、専用本を用意し、一団体(例えば中学校一校)で500冊か、団体(中学校)の構成員の3倍の冊数を上限とし、貸し出し期間は1年以内としているが、新規に開校した学校に対しては、学校司書と内容も相談の上、多めに貸し出ししていること、さらに、例えば「郷土」などのテーマで、授業の単元に必要な書籍については、学校ごとに「利用券」を配付し、20冊を2週間貸出しており、学校司書を打合せ窓口として、専門書や場合によっては一般書も貸出しているとの説明を受けました。

観光対策特別委員会活動報告

去る8月18日に委員会を開催し、輪島市への入込客数及び輪島市観光協会の現状について執行部から詳細な説明を受け、活発な議論を行いました。

委員からは、入込客数における地域別データやカウント方法、観光協会の財源内訳、行政と観光協会との組織一本化、観光案内センターと観光協会会員との関係、新体制となった観光協会の状況等の質問や意見がありました。

執行部からは、行政と観光協会との組織一本化や観光案内センターと観光協会会員との関係については、観光協会の体制が整えば一本化していくことは当然考えており、観光協会の会員とも観光案内センター内にある売店にて販売していたなど等、繋がりを持ちながら協働で観光案内センターを盛り上げているとの答弁がありました。

姉妹都市秋市議会 親善訪問団来輪



秋市議員団との懇談会の様子

8月23日、姉妹都市秋市議会親善事業として、西島孝一秋市議会議長を団長とする6名の秋市議会親善訪問団が輪島市に訪問されました。
輪島市役所では、正面玄関で多くの職員が出迎えて歓迎し、森正樹議長、西恵副議長、小山栄議員、椿原正洋議員、鎧邦夫議員、下善裕議員及び梶文秋輪島市長と懇談会を行いました。
懇談会では、秋市と輪島市のこれまでの交友関係や、大河ドラマや連続テレビ小説、地域活性化の話題で盛り上がり、交流が深まりました。

議会日誌

《7月》

5日・全国市議会議長会基地協議会第85回理事会

8日・能越自動車道建設促進期成同盟会総会

12日・第95回能登五市議会議長会定期総会

19日・輪島中学校建設特別委員会行政視察（21日まで）

21日・全国離島振興市町村議会議長会平成28年度第1回総会

22日・全国市議会議長会第156回産業経済委員会

22日・防衛省全国情報施設協議会総会

《8月》

2日・議会運営委員会

・能登総合開発促進協議会要望活動

・のと里山空港利用促進議員連盟要望

3日・全員協議会（定例）

5日・第18回子ども議会

18日・第133回石川県市議会議長会定期総会

19日・観光対策特別委員会

19日・教育民生委員会県内視察

22日・次世代交通対策協議会

《9月》

1日・輪島市穴水町環境衛生施設組合議会定例会

7日・本会議

8日・本会議

9日・予算決算委員会

12日・総務委員会

13日・予算決算総務分科会

13日・教育民生委員会

14日・産業経済委員会

15日・産業経済分科会

23日・議会運営委員会

26日・全員協議会

26日・予算決算総務分科会

27日・予算決算教育民生分科会

28日・予算決算産業経済分科会

29日・予算決算委員会

30日・奥能登広域圏事務組合議会定例会

編集後記

2016年も残すところ2箇月となりました。

オリンピック・パラリンピックでは、選手達の頑張る姿が私たち国民に大きな夢と力を与えてくれました。

また、自然災害の恐ろしさを改めて感じさせられた年でもありました。

北海道・東北・九州等被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

幸い北陸地方は、余り被害を受けませんでした。防災に対する備えは十分過ぎるということはないと思われま。

迎える2017年が平穏で実り多い年であることを祈念いたします。

議会報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 小山 栄 |
| 副委員長 | 二三 秀仁 |
| 委員 | 椿原 正洋 |
| | 高田 正男 |
| | 森裕 一 |
| | 下善 裕 |